

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
保健体育	保健	2	全	必修	1
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考査まで	「生涯を通じる健康」 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解する。
一学期期 末考査まで	4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解する。
一学期中 間考査まで	7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解する。 医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解する。
一学期期 末考査まで	「社会生活と健康」 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあり、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する。
学年末 考査まで	4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。</p> <p>【思考・判断】 授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ノートの記述内容などで評価する。</p> <p>【知識・理解】 授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ペーパーテスト（期末考査）などで評価する。</p>	